

6月は環境月間

読書を通じて考えよう
未来へつながる環境を



環境省は6月を環境月間と定め、環境への関心と理解を深めて、積極的に環境の保全活動を行うよう呼び掛けています。

市は、庁舎の照明器具の使用や冷房設備の温度設定を必要最小限にし、「クールビズ」（軽装での執務）を実施しています。市の関連施設における「クールビズ」の取り組みは9月まで行われます。市民の皆さんのご理解をお願いします。

皆さんも、家庭や職場で、できる範囲で節電に取り組みましょう。



テレビを消して読書や読み聞かせに取り組みましょう！

環境のことを学び考えるきっかけに、環境に関する図書を読んでみませんか？

テレビ・ゲーム・パソコンなどを消して読書や読み聞かせに取り組むことで、テレビなどの電気使用量が低減。地球温暖化の原因となっているCO₂（二酸化炭素）の排出量を抑えることができます。

登録 No. 1

おうしゅうエコ事業所に登録しませんか

環境負荷を低減させるための取り組みを自主的に定め、市に登録して実践する制度です。登録した事業所には「おうしゅうエコ事業所」として登録証を交付し、ホームページなどで市民に紹介しています。簡単な取り組みから参加できるので、登録して環境保全の輪を広げましょう。
■本庁生活環境課環境係（内線 214）

登録 No. 2

こどもエコクラブに登録しませんか

こどもエコクラブとは、子どもが誰でも参加できる環境活動クラブです。地球環境に関する学習や活動を展開しています。皆さんも楽しみながらエコ活動をするクラブに加入もしくは設立してみませんか。
●設立要件：3歳～高校生のメンバーと大人のサポーターの構成で登録可
■本庁生活環境課生活衛生係（内線216）

助成制度

その1【資源物の集団回収を行った団体に報奨金を交付】

ごみの減量化促進のため、資源物の集団回収を行った団体に報奨金を交付しています。集団回収でリサイクルを進め、報奨金を団体活動資金として活用できます。詳しくはお問い合わせください。

- ◆対象団体＝子ども会、PTA、自治会など（個人や事業所は対象外）
- ◆対象品目＝紙類（新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック）、アルミ缶、スチール缶、リターナブルビン
- ◆報 償 金＝回収重量1kg当たり3円 ※ビンは1本当たり0.5kg換算
- ◆必要書類＝代表者の印鑑、通帳、資源物の売上伝票（日付や資源物の種類や数量が記載されているもの）

その2【生ごみ処理機器を購入した人に助成】

- 一般家庭から排出される生ごみの減量のため、生ごみ処理機器を購入した人に助成を行っています。
- ◆対 象 者＝生ごみ処理機器を購入し、購入時と申請時に市内に住所を有する人
- ◆対象商品＝生ごみコンポスト容器、生ごみ処理機など
- ◆助成金額＝購入価格の3分の1の額（千円未満切り捨て）※助成は年度内に1回、上限1万5千円
- ◆必要書類＝領収証（原本）、品名・型番などがわかる保証書・説明書など、印鑑、振込口座が分かるもの

■問い合わせ（共通） 本庁生活環境課生活衛生係（内線 216）、各総合支所市民環境課

祝 百歳おめでとう

市は、5月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐藤ハルエさんⅡ水沢区新小路Ⅱは江刺区に5人兄弟の長女として生まれ、21歳のころ結婚。4男1女をもうけ、孫12人、ひ孫13人に恵まれました。地元の学校を卒業後、盛岡の製紙工場に勤め、その後上京。戦後は地元に戻り衣類の行商で生計を立て、5年前までは商店の店番も務めていました。



似顔絵入りのケーキで祝福を受けるハルエさん



長男の信一さんから花を受け取るトラヨさん

エさん。お団子やあんこなどの甘いものが好物で、くよくよせず、前向きに生きることが長寿の秘訣と話します。

高橋トラヨさんⅡ江刺区米里字太田Ⅱは同区に生まれ、18歳で故・喜久治さんと結婚。5人の子どもをもうけ、孫12人、ひ孫11人、玄孫5人に恵まれました。働き者で、家事はもとより稲作や牛の飼育、葉タバコの栽培などの農作業に精を出し、95歳まで草刈りをしていたそうです。
長女の阿部ハル子さんが「とても優しい母で、怒られ



孫の明範さんからのプレゼントに喜ぶキヌさん

たことがない」と言うほど穏やかな性格のトラヨさん。お祝いに集まった子や孫、ひ孫たちに笑顔で答えていました。
千田キヌさんⅡ胆沢区南都田字漆町Ⅱは同区に生まれ、25歳で故・稲蔵さんと結婚。2人の息子と孫4人に恵まれ、夫が戦死してからは、農業を営みながら必死に子どもたちを育て上げました。87歳の時、長男禎範さん、妹キシさんと中国を訪れ、夫の戦没地で祈りを捧げたというキヌさん。
「夫の分も1日1日を大切に、120歳まで生きていきます」と穏やかに話しました。とても好奇心旺盛で、現在も新聞やテレビで政治問題に注目しているそうです。

姉妹都市 掛川だより

昔の姿残し木造駅舎完成 「ケネディ大使、市民を称賛」



完成した木造駅舎前を市民らが祝賀パレード

J R掛川駅北口の木造駅舎が、1940年当時の姿をそのまま残して耐震化工事が完了したことを祝い、掛川市は4月26日、駅北口広場で完成記念式典を開催しました。

式典には駅舎保存活動に縁のあるキャロライン・ケネディ駐日大使からメッセージが寄せられ、募金・保存活動に尽力した市民をたたえました。

J R掛川駅木造駅舎は、東海道新幹線の停まる駅で唯一残る木造駅舎。木の文化の象徴として親しまれてきました。保存・募金活動は、「木造駅舎を保存・活用する会（鷺山恭彦会長）」と市が協働し平成22年から開始。目標額5,000万円を上回る約6,750万円が寄せられました。